



Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

山形ロータリークラブ
テーマ



会長 / 田中 達彦
幹事 / 與田 貴博

■ 点鐘 / 17:00

■ 例会場 / 蔵王温泉タカミヤグループ「JURIN (ホテル樹林)」

■ 出席報告 / 29名 (会員数 89名)

宮崎ロータリークラブとの懇親例会 in 蔵王

第1部 山形ロータリークラブ第3496回例会

11月28日(火)・29日(水) 宮崎ロータリークラブ 岡本 俊則会長はじめ、池ノ上 克ガバナー、川越 宏樹実行委員長、そして宮崎ロータリーのメンバーの皆様、総勢14名で地区大会の御礼でご来訪いただきました。



田中会長より
ご挨拶



岡本 俊則会長より
ご挨拶



池ノ上 克ガバナー
よりご挨拶



宮崎ロータリークラブ&山形
ロータリークラブ パナー交換



会員卓話 『蔵王の歴史と環境で山形の観光を考える』

タカミヤホテルグループ CEO 代表取締役会長 岡崎彌平治 さん

本日は極寒の蔵王について卓話をさせていただきます。これまで蔵王で商売を続け、蔵王の魅力も多くの方に伝えるのが私の仕事だと思っておりますので、そんな話を皆さんに聞いていただいた上で、明日改めてそう目で見たい蔵王を改めてご紹介させていただきたいと思っております。

まずは当社と蔵王の関わりについてお話しいたします。当社は山形県内と福島県の猪苗代に店舗を持っており、旅館業の他にも、只今、山形大学と玉川大学で観光の授業等も受け持っています。蔵王温泉や「蔵王」という名前は比較的名前が皆さんご存知だと思っておりますし、宮崎の皆さんにも認知をさせていただいていると思っておりますが、どちらかと言えばスキー場ということで認知をいただいていると思っております。実は蔵王は日本で道後温泉に次いで2番目に古い歴史を持っております。開湯が紀元110年、約1900年前に開湯されたと言われている蔵王、蔵王を見つけたのは奥州戦役に来ていた岡山の吉備多賀由(きびのたがゆ)と言った人が戦いで毒矢に当たり山を彷徨っていた時に蔵王の温泉に入って治ったのが蔵王温泉の発見だと言われております。蔵王温泉はとても濃い硫黄の温泉で皮膚、傷には非常に効く温泉でありまして、実はもともと「蔵王」という名前の前には吉備多賀由(きびのたがゆ)から高湯温泉と言われておりました。そういった名前が戦前まで蔵王の皆さんは高湯というところで蔵王の温泉を親しんでいたという歴史が、その後「観光地百選」と言われるのがあり、戦後すぐに日本1位になり、その時蔵王は「山雅蔵王」という名前が昔からこの蔵王と言った山を親しまれ、名称がそういう名前であったので「蔵王温泉」という名前がその時に変わったところですが、ところが蔵王という名前は山として有名な蔵王山と言った山は無く、蔵王のピークは「熊野岳」と言われる。蔵王は総称蔵王山と言ったのですが、実は「蔵王山頂」と言われるのが正式名称であります。もう一つ言えばもともと蔵王という名前がついたのは奈良の金峯寺に蔵王大権現ということがあります。実は蔵王はその大権現がそのまま蔵王に祀っており、もともとそれを祀っているところに修験に来る、そういう山だったそうです。ちょうどこの前にロープウェイがありますが、そこを1本登ったところに蔵王大権現が祀っております。と同時に熊野岳と言ったのは、実は奈良の「熊野詣」の熊野から来ていると言ったことでもありまして、実は東の人たちはなかなか西の熊野まで行くのが大変だと言ったことでもありまして蔵王の熊野へ来たと言われております。ですから西の熊野、蔵王は「東のお山」と言われてもと戦前まではずっとこの蔵王の温泉街まで、ちょうどこの下の蔵王、そこは湯治場、そして山は女人禁制でしたので女性や子供をそこ置いて男性だけが修験で山頂に登ってお参りをして帰ってくる、そういった場所がありました。

蔵王の温泉と言ったのはpH値が1.3、青森にあります玉川温泉と言ったのはpH1.1~1.2なので、その次にpH値が高いのは蔵王と言われております。酸性の温泉と言ったのは草津とかそれから、宮崎の草津の近くですと雲仙ですけどもその辺でもpH1.6とか非常に強いで玉川温泉に次ぐ強酸性、日本第2位、道後温泉に次いで歴史も第2位。これまでお話ししたとおり元々は湯治場、夏は避暑地でご覧いただいた通りこのようにたくさんのお客様に山登りやそれから湯治に来ていただいて、それから蔵王のスキーや樹氷が発見されたのは実は山形高等学校の山岳部の人たちが蔵王によく来ておりました。私の二代前の祖父も山形中学でその頃に親交があった人たちが山岳部で蔵王に登ったこの樹氷の発見し、それを今度はドイツのアーノルド・ファンク博士が撮影隊を蔵王に派遣し、撮影をしてそれをヨーロッパに知らしめて世界的にも有名になったということでもあります。実は今申し上げた十四代彌平治は私の祖父ですが、蔵王にそれまで一本杖で滑っていたのですが、ところがオーストリアの二本杖のスキーが入ってきて、それを一番最初に持ってきたのは十四代彌平治であります。いろんな文獻も残っておりますが、実は当時はもともと林業です、「山守」と言われておりました。それから郵便局長をしておりました。それから旅館経営をしております、私の祖母がやっておりましたが、祖父はいろいろ新しいことをしながら東京にもよく行っていらしたのですが、その時にスキーをこれ二本杖から一本杖にすることを勉強して蔵王に持ってこられたと言った話を聞きました。

それから「日本百名山」を執筆した深田久弥さんが蔵王に来た際に当館にお泊りになり、その時の深田さんの本を見ると高見屋に泊まったと。ところが高見屋の十四代彌平治が帰る時に「スーハイドック」と言ってくださった。ドイツ語では「シーハイドック」というのですが、少し訛ってたのですね。そこをしっかりと明記してくださる嬉しく思いながら拝見した覚えがあります。先ほどお話しした九代目彌平治が教えとして杉を9,999本植えた。1万本にしなかったのはこれから努力しなさいと言う我が家の教えであります。この事は子供の頃からよく言われたのですが、門前の小僧と同じで内容も何も分らず、9,999本の杉だともう1本売れるように頑張りなさいと言うふうに使われているだけで、やっと最近内容が読めるようになりましたし分かるようになりました。実は私の父がこの9,999本の杉林を作った、目の前にスキーを作った、それが昭和26年にスキーを作ったその後に何年かして父はこの先祖からの杉林を切って申し訳ないと言うような思いがしてそこにホテルを作った名前を「樹林」にしたようなんです。そうするとなんとなく先祖に申し訳ないということでの施設を作ったということでもあります。そういう中で蔵王のこういう世界的にも有名だと私たちは思ってますがそういうスキー場はできたわけです。今この蔵王のスキー場と言ったのは日本でも有名な白馬とか野沢、志賀高原、蔵王ですね、最近外国人のお客様が大変多くなっているニセコスキー場と肩を並べて日本でもベスト5には入る5大スキー場と言ったことで自負しております。実はロープウェイの数やリフトの数も日本でも大体1つの単一エリアで多いのは蔵王だと思っております。

私はまだJC(青年会議所)の頃、ちょうど40代の頃は蔵王に冬だけで120万人、もっと多い時で150万人と言われておりました。そこから数年してコロナの時から140万人減っており、10万人程しか蔵王にスキーに訪れていただけなくなった訳です。そんなことで非常に苦勞しておりますが、去年と今年とか10数年ぶりに黒字を出したということでもあります。それも自分の責任とかそういうのではなくてうちの父が持っていた土地を提供してスキー場にしてそこで作った会社がこういう風になるという思いを抱いていて何とかなければならぬという強い思いがありますので、今こういう形で会長をやりながら再生をしているところでもあります。先ほど少し偉そうに言った案件としては、再生メンテナンスです。これは2011年東日本大震災の後に沢山のホテルが廃業いたしました。たまたま私も父が50年前にこの地を基盤として作ってくれたので、それを見て育ったもんですからそういう形でノウハウが少しあってもう一つは先ほど話したとおり、非常にネームバリューがあり蔵王ということと温泉のことを前面に商品として出していけば何とかなるお客様にきていただけているという状況の中で仕事をさせていただけたいということは私にこういう時代でも生き残ってこれている原因かなと思います。そうした中でこれまで約29年間ロータリーにはなかなか参加できず大変ご迷惑をおかけしておりますが、蔵王と言った一つの基盤に山形県の観光のフックになるという思いを持っていますから、蔵王の歴史やいろんな商品価値や自然の環境の良さと言ったものを山形の一番の売りだと言ったことで県の観光協会であったり蔵王にDMC (Destination Management Company) を作ったりして、先週まで矢野会議所先輩もお越しですから会頭が公式な訪問で台南に行つていらつしゃいまして、私達はプロモーションでバスを三日間やりました。こうとどん海外に行ってプロモーションできるのも実はロータリーとかその前の青年会議所で行ったことを経験したおかげでいいとしても海外に行つたりすることが苦にならないという話かいていただいているんだなと言ったふうにも思っています。蔵王の歴史や自然の環境の良さをいろいろ先輩から教えを受けたりして自分の人生に託しても大切な教えをいただいた組織だと思っております。これからは極力参加をしながら蔵王の話や海外の話などもしながら皆様と楽しくロータリーをさせていただければと思っております。ありがとうございました。



四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやか)

■ 例会 / 毎週水曜日 12:30開会点鐘 第5週 18:00開会点鐘 ■ 例会場 / 山形グランドホテル

■ 事務局 / 山形市十日町 1-1-26-2F ■ TEL: 023-632-7777 ■ FAX: 023-624-5200

■ E-mail: yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちらから

パスワードは事務局へ
お問合せ下さい。



第2部 宮崎ロータリークラブ歓迎懇親会

歓迎懇親会では、先日参加させていただいた地区大会の話や、この度ご宿泊いただく蔵王の話題で盛り上がり、また、高橋畜産食肉さんの美味しいお肉、手打ちのお蕎麦や県産酒などをご堪能いただきながら、姉妹クラブとして更に友情を深めることができました。



長谷川パストガバナーよりご挨拶



川越 宏樹実行委員長よりご挨拶



乾杯は野々村パストガバナー



両クラブ次年度会長のご紹介



宮崎ロータリークラブ会長エレクト：塚田 正徳さん
山形ロータリークラブ会長エレクト：高橋 勝幸さん



宮崎ロータリークラブ歓迎サプライズ冬火花

二次会「ファイヤーサイドミーティング」



編集後記

1泊2日と非常に短い時間ではありましたが、美味しい食事と温泉を堪能いただきながら宮崎ロータリークラブの皆さまをおもてなしさせていただきました。宮崎ロータリークラブの皆様、お忙しい時期にわざわざ山形までお越しいただきありがとうございました。また、2022年にリニューアルされたJURINさんですが、お部屋も本当に素敵でした。次回は家族と一緒に宿泊したいですね。
(担当/近藤英雄)



Let's Make up メークを忘れずに

月 山形西RC 中山RC 天童西RC 山形イブニングRC 火 山形南RC 山辺RC 山形中央RC 水 上山RC 天童東RC 木 山形北RC 金 山形東RC 天童RC